

平成 19 年 6 月
ネットワーク全労生

2007年度 全労生の取り組み

全労生・議長
(電力総連・会長) 中島悦雄

全労生は、去る 6 月 4 日に今年度の第 1 回中央委員会を開催した。主要議題は今年度の活動計画である。年間活動統一テーマは昨年度からの継続性を考慮して、「生産性三原則の再認識と課題への挑戦」とし、サブテーマを「真にゆとりと豊かさのある公正で安全な社会をめざして」と決定して、活動に取り組むこととなった。

その基本は、2 つの全労生中央討論集会アピール（2005 年度：『生産性運動の新たな推進に向けて』・2006 年度：『労組生産性会議の活性化に向けて』）の具現化に向け、構成する産業別労働組合はもとより各生産性本部および各労組生産性会議との連携を一層強化し、活動の着実な実践と充実をはかっていくことにある。

具体的な活動の場は、幹事会と「企画・財政部会」、「労働政策部会」、「調査部会」、「組織・広報部会」、「中小企業対策部会」の 5 つの専門部会、および「21 世紀のワークスタイルのあり方と労働組合の役割」特別委員会・「ユニバーサルサービスと生産性」特別委員会の 2 つの特別委員会、10 月 16～17 日に開催予定の中央討論集会である。これらの場における調査・研究活動とともに、2 つのアピールのフォローや検証を通じて、生産性三原則の企業労使の現場での展開などについて実態把握に努め、今後の生産性運動の推進に資する検討を行っていく。

また、全労生は 2009 年度に 50 周年を迎える。今年度は、企画・財政部会委員を中心に構成する「全労生・50 周年事業検討委員会」を設置し、2008 年 6 月を目処に検討・答申を行うこととした。

全労生は、これらの諸活動とともに、三者構成である社会経済生産性本部はもとより、関係諸団体との連携をより深めながら、生産性三原則の再認識など生産性運動を希薄化させない取り組みを引き続き展開する所存です。構成組織をはじめ関係する多くの皆様のご理解と積極的なご参加を切にお願い申し上げます。